

かまた礼二の 議会だより

発行者

塩竈市議会議員 鎌田礼二

〒985-0077 塩竈市梅の宮 1-26

・TEL & FAX 022-365-9626

・mail kamata02@c-marinet.ne.jp



第14号



2016年 1月 1日発行

皆様にとって良い年でありますように



新年、明けましておめでとうございます。皆様にとって良い年でありますようお祈り申し上げます。

また、昨年は塩竈市議会議員選挙の年で市民の皆様には大変お世話になりました。皆様のお蔭をもちまして何とか3期目を当選することが出来ました。ありがとうございました。今後も初心を忘れることなく一生懸命頑張りますので、ご支援宜しくお願い致します。

8月の市議会議員選挙後から

昨年、8月30日(日)の塩竈市議会議員選挙から早や4ヶ月が経過し、3期目として9月定例議会と12月定例議会をこなしてきました。今後についても、今まで通り、議員としての使命を忘れずしっかりとやりたいと思います。

◎議長選挙に立候補

改選後、初めての議会(臨時議会)が、9月16日に開催され議長選挙が行われました。

私は公約を述べ選挙に臨みましたが、10票(香取嗣雄)対8票(鎌田礼二)で叶いませんでした。

た。しかし、今後は一議員として市民クラブの会長として行政に働き掛けていきます。

【議長選挙での公約の要約】

議長選公約として以下の事項を考えております。過去も大切ですが、未来に向けた活動を主体に考えたい。

①インターネット中継の実現(ガラス張りの議会)。

市民は行政の動きが良く分かるようになる。また、市民の皆様は議員一人ひとりの発言や態度を知っていただくことにより、議員は緊張感をもって議会に臨むようになる。

②塩竈の元気活気をつくるための特別委員会の設置(行政へ政策を提案)。

産業観光関係、子育て支援、教育関係など幅広く審議する。

◎市民クラブを継続

改選前の4名に、新メンバーの入会をいただき、改選前の市民クラブをそのまま継続しております。平成28年1月1日からの会派のメンバー及び役職については、以下の通りです。

- ・会長 鎌田礼二
- ・副会長 志賀勝利、今野恭一
- ・幹事長 兼 会計 志子田吉晃
- ・顧問 菊地 進

市民クラブ



志子田吉晃 幹事長 兼 会計

今野恭一 副会長

鎌田礼二 会長

志賀勝利 副会長

菊地進 顧問

◎平成27年12月定例会で動議を提出

塩竈市は、人口も減少し衰退するばかりです。塩竈の未来を考えるとこのままではいけない、議員・議会としてやるべきことがあるだろうとの思いで、二つの特別委員会の設置を提案致しました。

改選後、市民クラブとして東日本大震災復旧・復興調査特別委員会(平成25年5月から平成27年8月まで)の積み残し分と今後の復興に関して審議する「東日本大震災復興調査特別委員会」、そして、塩竈市の活気づくりのための「まちづくり特別委員会」の設置を9月定例議会より提案し、議長に申し入れをして参りました。

しかし、遅々として進まず、両特別委員会とも早急な審議が必要と考え、12月定例会初日に動議として提出致しました。動議の提出要旨説明の後、討論・採決の結果、**9対8の反対多数で不採択**となりました。どの特別委員会も今の塩竈として必要なものであり、今後も提案し続けていきたい。

【反対会派及び議員】

- ・オール塩竈の会 阿部かほる、西村勝男
阿部眞喜
- ・公明党 浅野敏江、小野幸男、菅原善幸
- ・風の会 伊藤博章、山本進
- ・つなぐ会 土見大介



二つの特別委員会設置提案説明

市民クラブ 志賀勝利

ただいま動議を出しました「東日本大震災復興調査特別委員会の設置」と「まちづくり特別委員会の設置」の2件につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

東日本大震災復興調査特別委員会の設置

まず始めに、東日本大震災復興調査特別委員

会の設置に関しまして趣旨説明を行います。

平成25年5月13日に東日本大震災復旧・復興調査特別委員会設置のための臨時議会を開催し、全会一致で設置が決まりました。この「東日本大震災復旧・復興調査特別委員会」に於いて、

◎一つは「東日本大震災に係る本市の復旧・復興について」

◎二つ目に「東日本大震災に係る災害廃棄物処理の委託状況について」の二点について議員全員で構成する特別委員会で審議して参りました。しかし、今年8月の市議会議員選挙が控えていたことから、一つの区切りとして8月3日に臨時議会を開催し、東日本大震災復旧・復興調査特別委員会の委員長報告を行い、全会一致で議決されました。

この委員長報告には、調査事項に対する11項目の改善意見と「重点分野雇用創出事業」について、改選議員の方々に対する調査願いが盛り込まれており、繰り返しになりますが全会一致で議決されております。

また、塩竈市は東日本大震災からの復興は道半ばであり、あと5年は必要と思われれます。復興を待ち望んでいる市民の皆さんから問い合わせがあっても、議員として明確に回答出来ないのが現状です。議会として何が出来るのか特別委員会の中で随時状況を把握し、積極的に議論を重ねていく必要があると考えます。以上、

◎「前会の東日本大震災復旧・復興調査特別委員会委員長報告の調査事項に対する11項目の改善意見と重点分野雇用創出事業について」そして

◎「震災復興事業について」の2項目を審議する「東日本大震災復興調査特別委員会」の設置を提案致します。

まちづくり特別委員会の設置

次に「まちづくり特別委員会の設置」に関しまして趣旨説明を行います。

塩竈市の将来のビジョンとして長期総合計画がつくられておりますが、年々歳々、塩竈市の活気は低下しているのが現状です。

また、活気あるまちづくりに必要な税収の根源

となる、水産振興策、商店街の活性化、港湾の振興策に関して市当局から新たな解決策が示されていません。その結果が今日の水産業であり水産加工業であり、商店街、港湾であります。

閉塞感が漂う我が街を少しでも元気にする為に、議員が一丸となり議会として活気ある塩竈をつくるため、市当局への様々な政策を提案する「まちづくり特別委員会」の設置を提案致します。

東日本大震災復興調査特別委員会 設置の賛成討論

市民クラブ 菊地進

東日本大震災復興調査特別委員会設置に賛成する会派を代表して賛成討論を行います。

ただいま反対者の方から、10月15日、我が会派から提案されたものを幹事長会議で協議をしていた。しかしながら、幹事長会議というのは、各会派の意見の調整であり、結論を出すところではございません。

それで、我々は、幹事長会議の報告を会派に持ち帰ってしました。しかしながら、我々は一議員、各議員の権利として、2名以上の提案で上程できるという議員本来の役割があります。それを我々は行使をして、何とか市民のためにまちづくりや復興を推進したいという思いで提案を、動議をしたわけでございます。

まず、東日本大震災復興調査特別委員会は、まだ復興をなし得ていない被害者市民・住民のために議会として取り組むべき課題を調査・研究、復興へ確実な歩みと成長を見守り、事業を推進することにより、重要課題がありますので、市民のためにぜひ必要でないかなと思っております。

塩竈市全体の復興への確実な早期実現と復興により、さらなる塩竈市の発展をすることを推進目的としております。その結果、市民・住民に寄与すべき、市民・住民に信頼される議会の働きが重要と考えた次第でございませぬ。

8月3日の東日本大震災復興調査特別委員会、百条委員会報告の臨時議会の委員長報告が全会一致で議決されており、議員一同心は一つであったはずで、全会一致で議決したわけですので、



で、議決内容を最大限尊重すべきと私は考えております。もちろん提起された問題、未解決の調査を解決して市民へ情報を開示すべきであり、市民・住民の要望に応えるべきものと確信いたします。東日本大震災復興調査特別委員会を設置すべきと強くつよく要望したいと思っております。

先ほどの小野幸男議員の反対討論で前回の議会は、継続はしなくていいという発言ですが、議会も行政もずっと流れています。前議会で決めたことがなぜだめなのか、賛成したあなたがそれを否定するのであれば、あの当時反対すべきでないかなと私は反対者に強く問い正したいと思っております。

私は、市民のために議会が活動することが本来の議員の役割でないかなと確信しております。それを前議会で決めたことが通用しないというのであれば、議会は何をすべきなのか、逆に伺いたい。再答弁をしていただきたいと私は思うくらいです。

私は、市民の要望・意見をこの議会で反映して、住みよい塩竈を築くためにぜひとも東日本大震災復興調査特別委員会の設置を願い、議員各位のご賛同をお願い申し上げます、私の賛成討論といたします。

まちづくり特別委員会設置の賛成討論

市民クラブ 鎌田礼二

先ほど動議で提出されました「まちづくり特別委員会設置」につきまして、賛成する議員を代表いたしまして討論を申し上げます。

以前と比較し、現在の塩竈市は活気がないと思うのは私だけでしょうか。魚市場の水揚げ量の減少。かまぼこ等の練り製品生産量の減少。そして仲卸市場の店舗数も減少しております。

定住人口も減少し、少子高齢化が進んでいま



す。浦戸については激減していると云ってもいいのではないのでしょうか。また、本町や尾島町には、かつての賑わいはありません。

現在、進められている東日本大震災からの復旧復興計画が完了したとしても、塩竈の活気や賑わいが生じるとは思えません。もちろん市当局は、何ら策を講じていないわけではありません。しかし、選挙で選ばれた私達議員はこのままでいいのでしょうか。

私は、塩竈を活気や賑わいをもたらす政策をもっと積極的に提案していく必要があるのではないかと思います。特に海岸通り再開発に議員が積極的に参画すべきではないのでしょうか。

私たち議員の意志を行政側に伝える手段として一般質問や3つの常任委員会があります。先ほど山本進議員の反対討論の中に、この常任委員会のことが出ました。確かに3つの常任委員会がありますが、それぞれの分野ごとであって、今回の案件につきましても、広範囲にわたるところがありますので、それには該当しないと私は考えます。

次に、先ほどの小野幸男議員と山本進議員の反対討論の中で、議会は前の(改選前の)議会と継続性が無いという話しをされましたが、議会の継続性は保証されています。前で決まったものが、次の市長に代れば違う。議会が代れば違うというのはおかしい話しであって、行政の継続性があります。もともと行政マンであった山本議員が知らないはずはないと思います。びっくりするばかりです。

そして、山本議員の反対討論の中で、二元代表制といわれる地方議会では、議会は行政のチェックでいいといった話がありました。なぜ二元代表という、二元、2つ同じ、二元がついているのでしょうか。これは、二元代表制ですから議案の提出も出

来ますし、行政への参画も保障されているのが二元代表制です。山本議員の権利を放棄するようなものである。

そして、先ほどのお話の続きになりますが、私たち議員の意志を行政に伝える手段として一般質問や先ほど話した3つの常任委員会などがありますが、議案や政策に反映するまでには至っていないのが現状です。

本特別委員会は、塩竈の活気や賑わいを取り戻す要素となる定住人口増加策・交流人口の増加策や水産業の活性化策・子育てや教育に関して住みたいまちづくりに繋がる政策等を議員全員の意思として当局に提案する特別委員会とした。

どんな政策にしろ、直ぐに効果が出るとは思えません。少しでも早く検討に入り、少しでも早い対策が必要であると考えます。少しでも早く塩竈の活気や賑わいを取り戻すよう議員、全員で行きましょう。

以上、述べさせていただきましたように、活気づくりのための「まちづくり特別委員会」の設置について賛成することを表明し、多くの皆様のご賛同を賜りますようお願い申し上げます、私の賛成討論と致します。



少林寺拳法塩竈道院 入門者募集

- 3才児から高齢者まで もちろん女性も
- ・会 場 少林寺拳法塩竈道院 専有道場
(市内梅の宮:長沢郵便局向)
- ・稽古日 毎週火・木曜日 午後 6:30~9:00
(年少者は8:00まで)
- 土曜日 午後 1:30~4:00
(年少者は3:00まで)
- ・連絡先 TEL 090-8921-3783(鎌田まで)